

# ごあいさつ



JAいちかわ  
組合長理事  
小泉 勉

このたび、合併10年を迎え、組合員をはじめ、多くの関係者のご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。都市農業を基軸に「愛され信頼されるJA」として、安全・安心な農畜産物を届けながら農と住の調和した地域づくりを目指していきたいと考えます。TPP問題、農協改革など依然として厳しい農業情勢ですが、①豊かな地域農業の振興②活力ある地域社会の実現③組合員の期待に応え、愛され信頼されるJA—を活動方針に、組合員・利用者の満足度向上に努め、地域社会に支持される組織として協同組合活動にまい進してまいります。具体的には組合員との結び付き強化、組合員への還元、6次産業化、輸出強化を含め信用事業による高い収益性をベースに健全経営、経営理念を守り、計画の着実な実行、事業の強化により、組合員のための「JAいちかわ」を次代へつないでいく所存ですので、なお一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



「市川のなし」発祥の地で生産の向上を誓う後継者たち



人気が高まる「船橋にんじん」



梨は最新設備の選果場に運ばれる

## 豊かな地域農業を振興

JAいちかわは、広域JAとして各地域の立地条件を生かした営農指導・経済事業を展開している。「市川のなし」「市川の梨」をはじめ、「船橋にんじん」が地域団体商標を取得するなど、生産・販売力を向上させ、持続可能な地域農業の実現を積極的に進めている。

### 全国一の「市川のなし」

市川市産の梨は2007年8月に「市川のなし」として各地域の立地条件を生かした営農指導・経済事業を展開している。「市川のなし」「市川の梨」をはじめ、「船橋にんじん」が地域団体商標を取得するなど、生産・販売力を向上させ、持続可能な地域農業の実現を積極的に進めている。

「市川のなし」が地域団体商標の認可を受けた。200年以上の栽培の歴史があり、「幸水」「豊水」「あきづき」「新高」がその代表品種。JA果樹部会は生産者215人で構成され、栽培面積約260

「安全」「安心」の継続  
「市川のなし」「市川の梨」とともに、消費者へ安全・安心な農畜産物を持続的に安定的に供給する取り組みのひとつが「エコファーマー」認証取得だ。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

# 愛され信頼されるJAへ

これからも  
JAいちかわ合併10周年

千葉県のJAいちかわは、1987年にJA浦安市、2004年にJA船橋市、10年には柏市のJA田中と合併した。都市農業を基軸に梨、ニンジンの地域団体商標登録などでの農業振興や、

支店の整備を行い、組合員そして利用者のためのJAづくりを努めている。大型合併から今年で10周年を迎え、先進的な都市型JAとしてさらなる自己改革を進め次のステージへ踏み出している。



JAいちかわは都心から30分圏内だが、市川市の梨、船橋市の梨、ニンジン、柏市の水稲など農業が盛んで、営農意欲の高い組合員が地域農業を支えている。また、古くから道路・鉄道など交通網が発達し、都市住民との混住化の進行に対応して「農と住の調和」したまちづくりを進めている。総合事業を通じ、相互扶助の精神を発揮し、組合員・地域住民から、愛され信頼されるJAを目指し、「生命(いのち)・地域(ちいき)・環境(かんきょう)・和(わ)」を理念に、協同活動を通じて地域社会に貢献している。



組合員数(平成25年12月31日現在)	
正組合員	5,140人
准組合員	11,509人
合計16,649人	
主な事業量(平成25年12月31日現在)	
出資金	34億1,726万円
貯金	3,365億9,305万円
貸出金	1,986億2,551万円
購買品供給高	14億2,207万円
販売品販売高	20億4,851万円
長期共済保有契約高	6,363億1,615万円
本店	
千葉県市川市北方町4丁目1352番地2	
電話:047-339-1111	

## 活力ある地域社会の実現へ

JAでは、組合員と地域住民との「絆」「つながり」の維持・強化のため、各生産組織協力組織と連携し、市民祭、農水産祭りなど積極的に参加している。直売組合による農産物販売、JAいちかわ感謝祭、田中支店の納涼祭は地域では欠かせない行事のひとつとなっている。

また、弁護士・税理士による「法律相談会」「税務相談会」、休日ローン相談会や年金相談会、各種セミナーは組合員の経営をサポートしている。

JAでは、料理教室、手芸教室などの生活文化活動を展開している。利用者参加のゴルフ大会やボウリング大会

グラウンドゴルフ大会、昼食招待会、招待旅行も小まめに開催している。また、生産者組織や支部組織、組合員組織、利用者とのつながりを大切に機会あるごとに接点をつくり、還元施策を継続的に実施している。

なかでも好評なのは「組織組合員の集い」だ。毎年、人気歌手のコンサートを行っている。9月27日には由紀さおりさん、安田祥子さんを迎え、「合併10周年記念感謝の集い」を浦安市のシネマトンクラシア・ホテルで

野球大会の開催、中学校職場体験の受け入れは定着してきた。福祉施設や各市へ梨の贈呈、柏市への米粉贈呈にも積極的である。

環境保全に対しては、本館屋上に太陽光発電システムを2013年7月に設置した。約960平方メートルの屋上に南向き斜度20度の架台2台、太陽光発電モジュール128枚を敷き詰めている。年間2万1621キロワット時、一般家庭約6戸が1年間に消費する電力量に相当する電力を供給している。

## 組合員の期待に応える

JAは合併後、生産部会や青年部、女性部など、それぞれ地域の特色を生かした活動を展開する、生い立ちや歴史など、これまでの流れを

JAでは、料理教室、手芸教室などの生活文化活動を展開している。利用者参加のゴルフ大会やボウリング大会

グラウンドゴルフ大会、昼食招待会、招待旅行も小まめに開催している。また、生産者組織や支部組織、組合員組織、利用者とのつながりを大切に機会あるごとに接点をつくり、還元施策を継続的に実施している。

なかでも好評なのは「組織組合員の集い」だ。毎年、人気歌手のコンサートを行っている。9月27日には由紀さおりさん、安田祥子さんを迎え、「合併10周年記念感謝の集い」を浦安市のシネマトンクラシア・ホテルで

野球大会の開催、中学校職場体験の受け入れは定着してきた。福祉施設や各市へ梨の贈呈、柏市への米粉贈呈にも積極的である。

環境保全に対しては、本館屋上に太陽光発電システムを2013年7月に設置した。約960平方メートルの屋上に南向き斜度20度の架台2台、太陽光発電モジュール128枚を敷き詰めている。年間2万1621キロワット時、一般家庭約6戸が1年間に消費する電力量に相当する電力を供給している。

使用済み農業用資材(農業用廃プラ)の回収や、不要



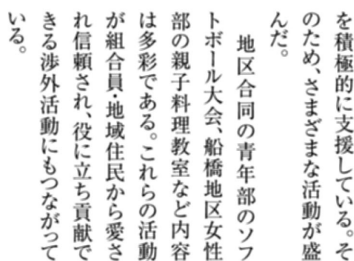
盛大に行われる納涼祭



「合併10周年記念感謝の集い」を満喫する参加者



地元食材を使った親子料理教室



新規就農者を激励する歓迎会



山崎製パンとコラボした「梨ウォーター」



清掃活動する職員

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

管内では都市と農業の共生をテーマに農家組合員向けに環境に優しい農業の実践と新鮮で安心な農産物供給に向け努力を続けている。

## JAの概要

JAいちかわは都心から30分圏内だが、市川市の梨、船橋市の梨、ニンジン、柏市の水稲など農業が盛んで、営農意欲の高い組合員が地域農業を支えている。また、古くから道路・鉄道など交通網が発達し、都市住民との混住化の進行に対応して「農と住の調和」したまちづくりを進めている。総合事業を通じ、相互扶助の精神を発揮し、組合員・地域住民から、愛され信頼されるJAを目指し、「生命(いのち)・地域(ちいき)・環境(かんきょう)・和(わ)」を理念に、協同活動を通じて地域社会に貢献している。



組合員数(平成25年12月31日現在)	
正組合員	5,140人
准組合員	11,509人
合計16,649人	
主な事業量(平成25年12月31日現在)	
出資金	34億1,726万円
貯金	3,365億9,305万円
貸出金	1,986億2,551万円
購買品供給高	14億2,207万円
販売品販売高	20億4,851万円
長期共済保有契約高	6,363億1,615万円
本店	
千葉県市川市北方町4丁目1352番地2	
電話:047-339-1111	